

平成 29 年度 事業報告

ケアホーム きらめ樹・かがや樹 (共同生活援助)

*「住み慣れた地域で安心して楽しくともに生きる」をモットーに事業運営を引き続き継続させます。

地域で安心して生活が送れるよう、日常生活支援、余暇活動の充実が図れるように支援を行います。地域住民との交流を大切にし、地域貢献ができるよう支援します。週末、長期休暇時、利用者の高齢化問題も検討しながら、継続してグループホームでの生活がより充実したものとなるようにします。

利用者自身が意思決定することができ、自立性がより向上できるよう、また日常生活がマンネリ化とならないよう、創意工夫しながら支援を行います。

安全なサービス提供をするため十分な職員配置にし、支援員、世話人と連携しながらサービスの質が劣ることのないように職員資質の向上にも努めます。利用者、ご家族の方が安心できるようなサービス提供を常に考え取り組んでいきます。

●2ユニットで定員 20 名 現員 20 名で、住み慣れた環境で安定した生活を送ることが出来ました。

○サービス提供予定日と時間

365 日（原則）

帰省や外泊、体調不良時の対応等により変更もあり得る。

●本人、家族からの要望により引き続いて週末、夏季休暇、年末年始は帰省しながらグループホームを拠点として、家族との時間も共有しながら生活ができました。

1. 援助

(1) 一人ひとりの障害程度に応じて、個別支援計画に基づき引き続き個別のニーズに沿ったサービス提供をします。よりよい援助となるよう職員研修を積極的に行い安定した支援を提供します。引き続き、利用者、家族の聞き取りを十分に行い、希望や意向に沿えるようにします。

夜間においては引き続き職員体制を 2 名配置し、利用者の安全を優先させて支援します。入浴、排せつ、食事、保清等の支援、調理、洗濯、掃除の家事において必要に応じて援助を継続します。家庭的な環境作りにも心掛け、本人の意向、能力に応じて職員と共同でできるようにします。

●十分な職員配置を行い、引き続き家庭的な環境作りに努めました。個別支援計画に基づき、年齢を考慮しながら支援しました。夜間は職員 2 名体制を継続させて、安全面において引き続き強化させました。

(2) ホーム内外でのレクリエーションの提供を継続して行います。良好な地域との関わりをもつためにも地域行事への積極的な参加をしていきます。

- ・近隣の夏祭り、花火大会 ・花見 ・バーベキュー大会（中庭）、・誕生日会、
- ・節分 巻き寿司作り、豆まき ・ひな祭り・クリスマス会、買い物、外食

●近隣の夏祭り、花火大会、花見、バーベキュー大会、誕生日会、節分、ひな祭り、クリスマス会、などの行事を取り入れ季節感を味わっていただきました。外食、買い物の機会も増やしました。

(3) 個々に沿った個別支援計画の作成をし、モニタリングを行います。

それぞれのニーズが聞き取れるようにします。

●個別支援計画を作成し、年齢や障害特性を家族とも話し合い将来に向けての方向性を考えました。利用者だけでなく、家族の高齢化問題、それぞれの家庭環境も考慮しながらその方に合った情報提供を行いました。

(4) 週末は希望により全員自宅に帰省しているが、今後帰省しない利用者や日中ホームで過ごす利用者がある場合の対応策を検討します。

●週末自宅に帰宅しない利用者、日中活動サービスの利用が出来ない利用者の想定をし、職員増となるように努めました。今後のことを考え、常時必要となると更に人員的な不足も生じてくるので、人材育成、確保については今後も大きな課題です。

2. 保健衛生、健康管理

健康管理は、世話人と支援員が定期的に行います。また、必要に応じて協力医療機関等への相談、通院等の対応を実施します。

定期的に体重・血圧測定、検温、食事等の健康管理を実施します。

運動不足等を考慮して、室内でできる簡単な運動も行っています。

服薬管理においても必要な方には支援をします。

季節に応じて室温、空調等には十分配慮して、感染症には十分気を付けます。

食事は栄養面に配慮して、体重管理をしっかり行い規則正しい生活ができるようにします。昨年に引き続き、ご本人、家族の方と話し合い、了解のもとで健康状態に応じて食事の量を調整するなどの配慮をして健康管理に努めます。

下記の医療機関とも連携をとりながら、緊急時、随時に対応します。

<協力医療機関>

朝山内科 姫路市網干区坂上 378-1

瀧口歯科 姫路市網干区新在家 1379

●毎日の健康管理を行い、利用者の心身の状況把握に努めました。身体機能だけでなく、精神的に不安定になる方は、医療、家族との連携をとりながら支援を継続させました。服薬管理についても事前に十分薬の確認を行い、誤飲がないように徹底させました。また、体重管理もしっかり行い、減量対応も行いました。衛生面については、支援員、世話人、利用者で毎日の居室清掃を徹底させ感染症対策にも十分努めました。

3. 相談援助

必要に応じて利用者、家族の相談に応じます。不安を和らげるためにも利用者、家族、事業所でコミュニケーションを密に取りながら相談しやすい環境づくりに努めていきます。家族の方へは、必要に応じてその都度ホーム内での報告、行事等へのお知らせを行い、定期的に家族会を開催します。保護者だけでなく家族（兄弟等）の交流が深められるように検討します。

●家族会を実施させ、家族間同士の繋がりを深めました。新しい情報、家族としての不安等を抱え込まないように家族間のコミュニケーションを図り、問題を共有することができそれに向けての解決策を話し合えることができました。

4. 関係諸機関への連携

日中活動先との連絡、調整を行い、状況に応じて訪問等により情報交換し、安心して生活を送れるように努めます。

●利用者の大半が同じ法人内での日中活動事業所で、日中の状況把握をしやすい点を活用し、それぞれの事業所で情報共有しながら、職員同士の連携をとりました。

5. 非常災害対策

避難訓練を年2回実施（夜間においても実施）

●10月、3月に消防訓練を実施しました。利用者、職員も慣れてきたこともありスムーズに訓練ができました。夜間においても訓練を実施することができました。

6. 緊急時の対応

緊急時マニュアルに基づき、利用者、職員双方に安全に対する意識を高めて計画的に避難訓練を行います。

●マニュアルに基づき、訓練を実施し研修と通じて全職員に安全に対する意識付けを徹底させました。

7. 職員資質向上

職員（支援員、世話人）の意識改革と資質向上にむけて、積極的に研修受講を実施します。新任職員の定着をめざして安定した職員配置となるようにします。全職員が共通した認識をもって、統一したサービス提供ができ、安心していただけるように努めます。

●全職員が同じサービス提供ができるよう、職員間同士でコミュニケーションを取り合い、内部研修を行い職員資質向上に努めました。

グループホームの一日の流れ

時 間	内 容
7：00～	起床 朝食、片付け、歯磨き、洗面、整髪、着替え
8：30～	移動
9：00～ 16：00	日中活動開始 日中活動終了
16：00～	帰宅 着替え、入浴
18：00～	夕食 片付け、歯磨き 自由時間
22：00～	消灯